

徳地森の子くらぶ⑦ ～ポン太の森でわくわく大発見！～

平成31年3月23日（土）～24（日）

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 58名（男子29名、女子29名）、法人ボランティア7名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:00 始まりの会
- 11:20 みんなであそぼう！（アイスブレイク）
- 12:00 お昼タイム
- 13:00 ポン太の森でわくわく大発見！（ネイチャービンゴ）
- 18:30 キャンドルサービス

2日目

- 9:30 アウトドアクッキング（クリームシチュー）
- 14:00 さよならの会
- 14:30 バス乗車/終了

「始まりの会」

「みんなで遊ぼう！（アイスブレイク）」



今回の森の子くらぶには、58名の子供が参加しました。プログラムが始まる前は、少し緊張した様子の子供達でしたが、ゲームを通して、だんだんと笑顔が増えました。

「ポン太の森のでわくわく大発見！」

「キャンドルサービス」



グループの目標をたてて、ミッションクリアを目指しました。今回の森の子くらぶでは、「春さがし」をテーマに、グループで協力して、アクティビティを楽しみました。

キャンドルサービスでは、電気を消して、ろうそくの火のみを頼りにしてグループの友達と翌日のアウトドアクッキングについて、話（作戦）をたてました。

「アウトドアクッキング（クリームシチュー）」



各グループ、自分たちで、活動の役割（まき係や調理係など）を決めて、協力しながらクリームシチューを作りました。

使った鍋やスプーン、かまどの掃除を最後まで一生懸命に頑張る子供達の様子がとても印象的でした。点検を合格した子供達からは、「やった!」、「みんなで頑張ってよかった!」と喜びの声が聞こえました。



参加者全員で記念写真

【参加者の声】

「最初は緊張したけど頑張りました」、「キャンドルのついで目・はな・耳を使った」、「次は、点検一発合格したい」、「土曜日は仲間と一緒に活動できなかったけど、日曜日はできたのでうれしかったです」などの感想をいただいた。

【成果】

多くの子供達が参加する本事業では、「安全」に活動が行えるように、ボランティアを含めて事業前ミーティングを実施した。また、はじめて「ボランティア統括職員」を配置したことで、主担当職員とボランティアとの連携を円滑に行うことができた。

【課題】

通年で企画・実施される本事業においては、「季節」を感じることができる活動を設定できる。今後、諸感覚を使って自然から学ぶことができる新規プログラムの開発を検討し、活動を企画・実施していく。